

令和5年度

こどもの居場所づくりビギナーズセミナー

ワイワイ楽しく！

子ども食堂&プレーパーク

日時：2023年12月7日(木)14:00 ~ 16:00

会場：オンライン開催(Zoom)

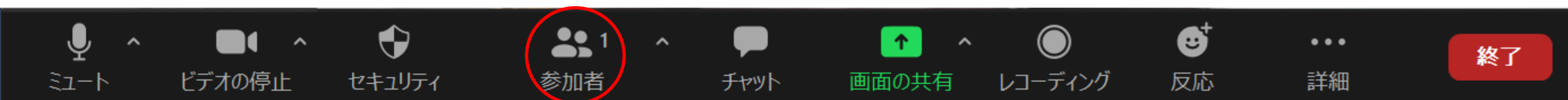
主催：埼玉県

運営：令和5年度子供の居場所づくり推進事業事務局
NPO法人新座子育てネットワーク

こどもの居場所づくりビギナーズセミナー

ご自身の表示名、マイクミュートを確認してください。

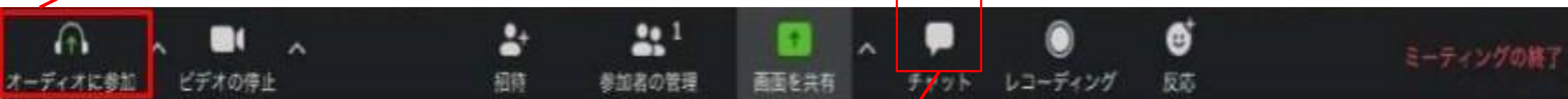
- ①「参加者」をクリック(またはタップ)すると右に参加者一覧が表示されます。
自分の名前のところに表示される「詳細」をクリック(またはタップ)すると名前の変更ができます。
「参加番号 + 参加者名」を入力してください。



- ②画面左下のマイクをクリック(またはタップ)し、マイクに斜線が入っている状態にしてください。



- ③マイクが表示されない方は、「オーディオに参加」をクリック(またはタップ)して、設定してください。



- ④事務局からのお知らせを「チャット」でお送りいたしますので、確認をお願いします。

記録のため録画しております。ご了承ください。

本日の流れ

1. 開会挨拶

埼玉県福祉部少子政策課 下田 佳代子 主幹

2. 講演

一般社団法人埼玉県子ども食堂ネットワーク 代表理事 東海林 尚文 氏

埼玉冒険遊び場づくり連絡協議会 代表 佐藤 美和 氏

3. 埼玉県からのお知らせ

埼玉県福祉部少子政策課 牧野 圭那 主事

————— 参加者交流会 当日参加申込 締切 —————

交流会へ事前申込をされていない方で当日参加を希望される方は、事務局あてにチャットにて「フルネームと参加希望」の旨をお知らせください

4. 参加者交流会(希望者のみ)

子ども食堂はみんなの居場所

一般社団法人

埼玉県子ども食堂ネットワーク

代表理事 東海林 尚文 氏

子ども食堂はみんなの居場所

2023年12月7日（木）
於：こどもの居場所づくりビギナーズセミナー

Naofumi Shoji


子ども食堂とは？

子ども食堂は、子供やその保護者および地域住民に対し、無料または安価で栄養のある食事や温かな団欒を提供するための日本の社会活動。2010年代頃よりテレビなどマスメディアで多く報じられたことで動きが活発化し、「孤食」の解決、子供と大人たちの繋がりや地域のコミュニティの連携の有効な手段として、日本各地で同様の運動が急増している。2012年に東京都大田区で始まったとされ、その後、社会福祉法人やNPO法人、民間団体などの組織が全国各地で運営に取り組むようになった。貧困家庭の子どもへの支援に限らず、食を通じた地域の交流の場としての役割を担っていることも多い。それぞれの運営団体が強みを生かした多様な活動があることも特徴として挙げられる。

「みんなで食べよう！」のようす







富士見みんなでプロジェクトの合言葉は…

「みんなで食べると美味しいね！楽しいね！」

地域で育む大きな食卓

コロナ禍での取り組み

会食を伴う通常形式の子ども食堂が開催できなくなった

お弁当や食材を配布する活動が始まる







コロナ禍でもやめなかった理由

誰でも参加できる、利用者が安心
できる、地域の繋がりを感
じあたたかい居場所が必要だと感
じたため

家庭でも学校でもない

第3の居場所



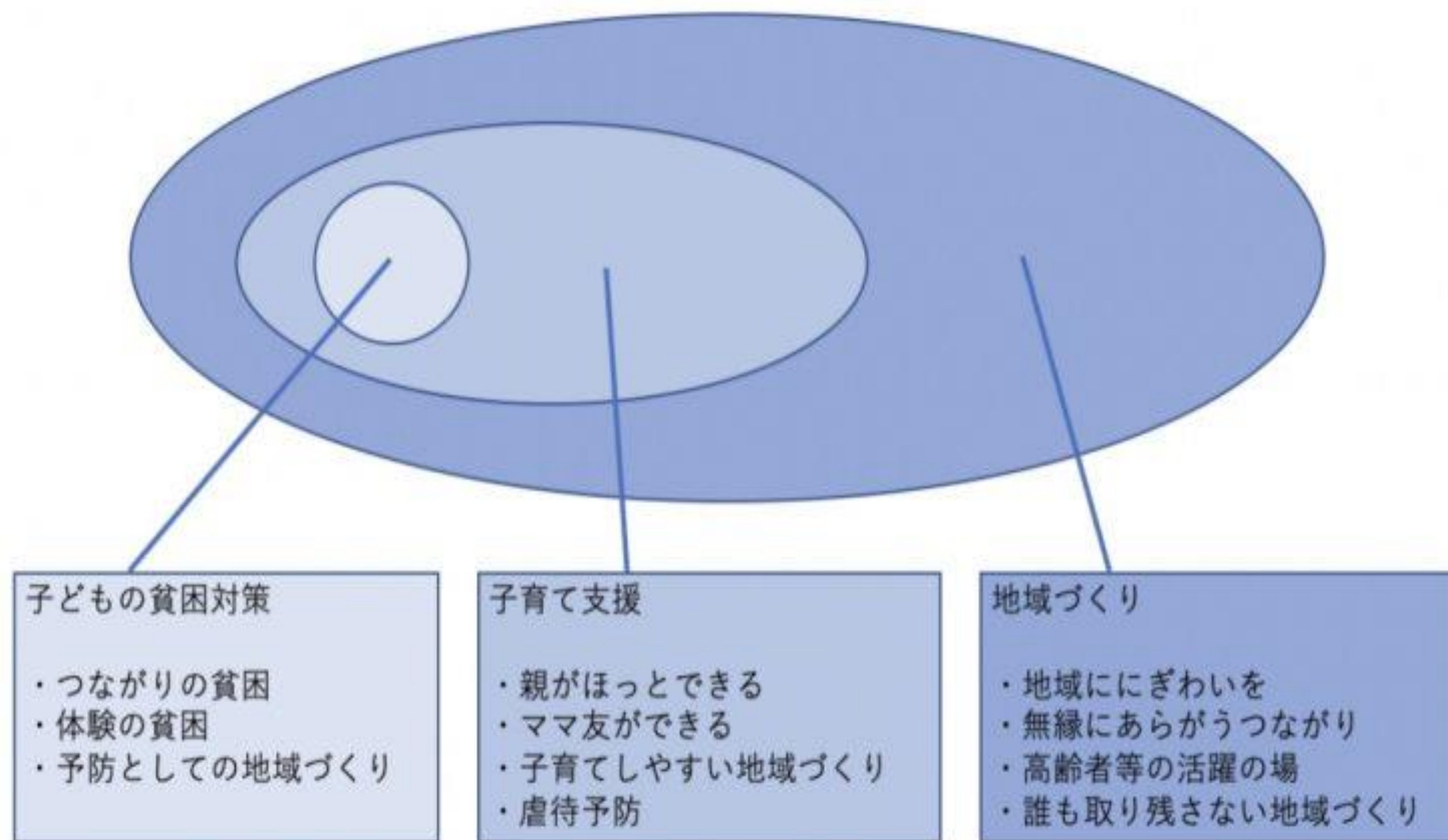
それぞれの地域で人と人が繋がって支えあえる場所

地域のみんなで子供たちをみまもれる場所

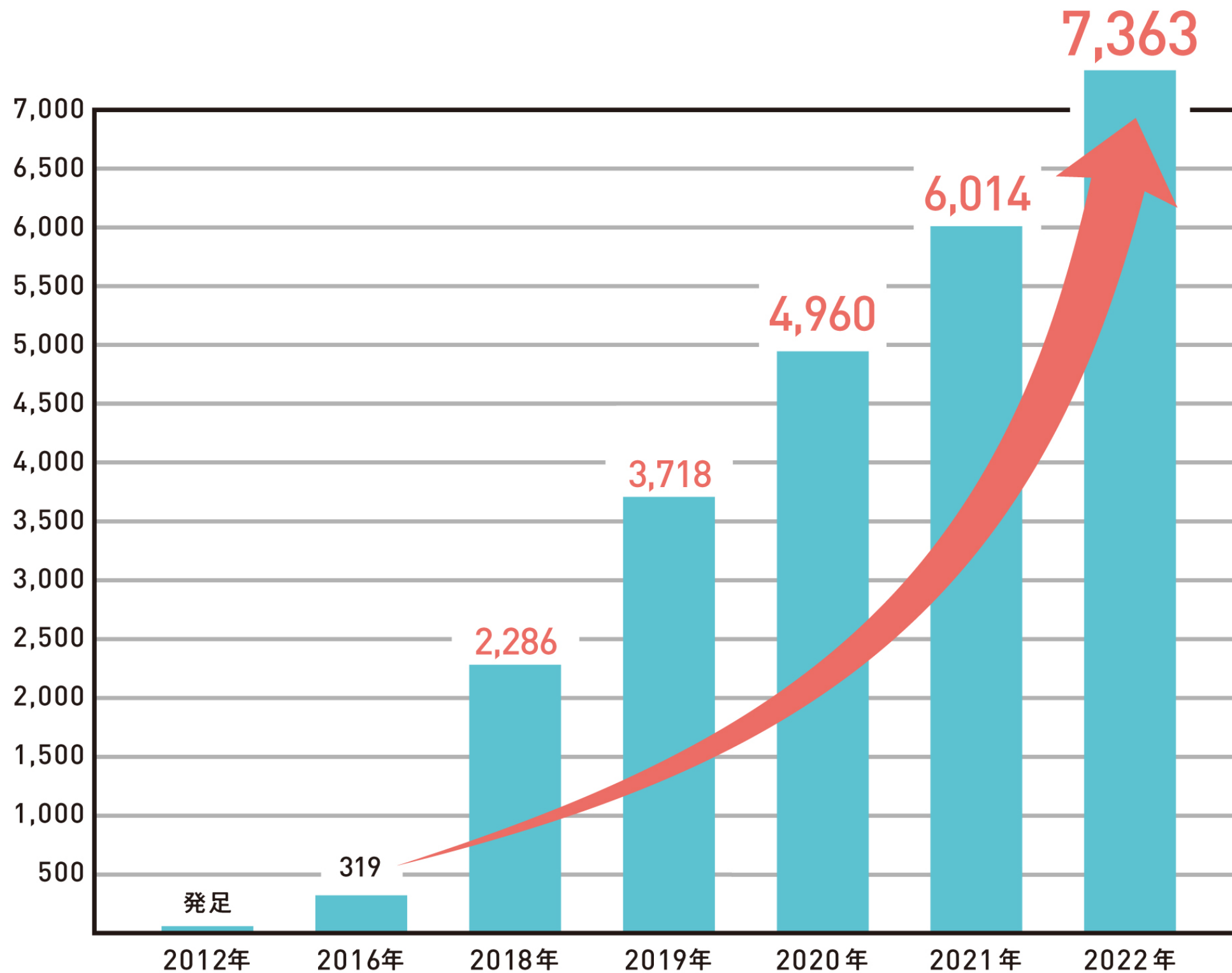
子ども食堂

地域のオアシス

子どもの貧困対策／子育て支援／地域づくり



全国の子ども食堂数推移



2018年以降は認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ、および地域ネットワーク団体調べ、2016年は朝日新聞調べ

埼玉県子ども食堂ネットワーク

こども食堂は地域のオアシス!

埼玉県

一般社団法人
埼玉県子ども食堂
ネットワーク

子ども食堂MAP 2023

埼玉県子ども食堂ネットワーク

加入団体

191箇所

2023年7月現在

子どもの居場所として、
地域交流や体験の場として、
お近くの子ども食堂を
ぜひご利用ください。



一般社団法人 埼玉県子ども食堂ネットワーク

代表理事 東海林尚文

住所: 〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町2-3 大宮マルイ7F

TEL: 049-263-6951 Mail: saitama.ks.net@gmail.com

HP: <https://www.saitama-kodomo.net>



作る人

志木のまいにち子ども食堂

山下悦子さん

あったかい晩ごはん、お持ち帰り弁当、本格手打ち蕎麦、学校給食がない日のお昼ごはん、食品無料配達をおこなっています。



あったかいごはんをみんなで食べて心も満たす

8年前、市内にも「児童虐待」があることを民生児童委員の立場で知り、同じ頃都内で「子ども食堂」という場所ができていることも知りました。そこで志木市にも「子ども食堂」が必要であると強く強く思い、志木市にどんな子ども食堂があればみんなの心が満たされるのか、みんなが子どもを大事に思えるのか、みんなが心豊かに暮らせるのか、たくさん考え自分自身で開いた「志木のまいにち子ども食堂」です。あったかいごはんをみんなで食べて心も満たす、子どもが心豊かにまいにちを送れるように、おとなも子どももみんなで集まっちゃおう、との理念を掲げ、今年は6年目に突入しました。顔見知り、話し相手、仲良しの輪を広げて、まいにちみんなのそばでみんなを応援します！

これからも、どんな社会情勢になリどんな災害が起こリどんな時代になるか、何が起ってもそのときに必要なことを読み解き考えながら、柔軟な活動を心がけていきたいです。

志木のまいにち子ども食堂はみんなの食堂です。おとなも、子どもだれでもみんながいつしよにごはんを食べるところです。さんおあつまりください！

子ども食堂名 志木のまいにち子ども食堂
代表者氏名 山下悦子
活動場所住所 353-0002 志木市中宗岡4-18-31-103
連絡先 090-3439-7403
活動開始年 2017年3月
活動日 月～土曜日(週6回)、春・夏・冬休みのお昼ごはん56回、年間開催合計330回

三芳おなかま子ども食堂

飯塚結花さん

美味しいご飯、楽しい時間、面白い体験、嬉しい出会いがいっぱいの三芳おなかま子ども食堂です！是非一度お越しください。



地域で助け合える場作り

もともと保育士として働いている時からさまざまな家族の形や、課題や、困難さを目の当たりにしてきました。それぞれの「困りごと」は違いますが、乗り越える家庭とそうでない家庭の大きな差は、相談や話ができたり、助け合える人の有無だと感じています。親、親戚、先生、などもそうですが、身近な友人や仲間の存在が、支え合える基盤になっています。そこで、地域でつながりを作ることのできる場として子ども食堂を立ち上げました。

子ども同士の出会い、地域の大人との出会い、大学生ボランティアとの出会いは、子どもだけではなく子育て世帯の保護者たちにとって新しいつながりが生まれます。また、「子ども食堂」と言っても、参加者は地域の高齢の方もいらっしゃるの、自然な形で世代間交流もできます。安心安全の居場所で出会い、これまでたくさんの相談を受けてきました。これからも、ゆるやかにつながり合い、支え合える場として継続していきたいと思っています。

現在コロナの影響を受けて、会食形式から「お弁当の配布・パントリー・体験イベント」の三本柱で開催しています。まずは会食形式に戻していくことが目標です。また食育体験型農園の昨年より始めているので、食堂と畑をリンクして、自然体験や食体験を通して楽しい企画を立てていきます。

子ども食堂名 三芳おなかま子ども食堂
代表者氏名 飯塚結花
活動場所住所 〒354-0041 埼玉県入間郡三芳町藤久保817
連絡先 090-2545-1234
メール ladybird87@ozzio.jp
活動開始年 2017年4月
活動日 毎月第一、第三火曜日

熊谷なないろ食堂

山口純子さん

なないろ食堂のお弁当を食べて、パワー充電してください。週3回、いつでもお待ちしております。



色々な経験をさせてあげたい

自身のライフワークとして始めましたが、当初はボランティアさんも寄付のあてもなく不安なこともありました。今となっては、何を心配していたのだろうと思うほど、多くの方にご協力を頂いています。特に、学習支援(てらこや)を利用していることも達とピザ作りやクッキー作り、一緒にイベントをしたり、食事を作ったり我が子のような存在です。ひとり親家庭で、一生懸命子育てしている親御さんのサポートができるよう色々な経験もなないろ食堂でできたらいいなと思います。”

週3回活動していますが、それでも必要な世帯に届いていないという実感があります。

子ども食堂は、個々の家庭へのサポートができる存在だと思いますので、仕組み作りをしたいと思っています。まずは、熊谷市に子ども食堂を中学校学区くらいに増やせるように働きかけます。



子ども食堂名 熊谷なないろ食堂
代表者氏名 山口純子
活動場所住所 360-0816 熊谷市石原1028-8
連絡先 080-7858-4277
メール sk.nanairo@outlook.jp
活動開始年 2018年4月
活動日 平日水金

長くつ下のピッピ食堂

勝田真弓さん

「誰も取りこぼさない、先に見える笑顔のために」をいつも心に刻み、子どもたちを、親たちを見守っていけたら嬉しいです。



きっかけは「私のできること」

60代後半、1年7カ月ほど目が見えなくなり大変な思いや不安な思いを過ごしましたが、手術のかいあって視力が戻ったとき、あるテレビのニュースで、3人の子どもの若いシングルマザーの方がテーブルの上に¥1700だして、「これで1週間食べさせなきゃいけない」と話しているのを見て、すぐ翌日から自宅解放の子ども食堂を始めました。「私のできること」から、今は「私のやるべきこと」になりました。

シングルマザーシェアハウスや学習支援、また市内に子ども食堂をふやしたいとの思いから「子ども応援プロジェクト東松山」を立ちあげました。また、年に一度「子どもソングフェスティバル」を開催したいです。「歌と笑顔」はなによりも「力」になります。



子ども食堂名 長くつ下のピッピ食堂
代表者氏名 勝田真弓
活動場所住所 〒355-0077 東松山市上唐子1461-82
連絡先 0493-25-1628
メール mayukatu66@gmail.com
活動開始年 2019年12月12日
活動日 毎週金曜日、土曜日開催

消防士 「消防士のお仕事」

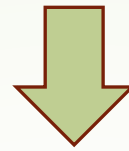


東武東上線ふじみ野駅駅長 「電車のお仕事」





体験・経験の蓄積




引き出しを増やす



ある時突然、何かと何かが繋がって



生きがいを見つけることができるかもしれない



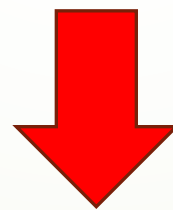
まとめ

人と人が地域で繋がる

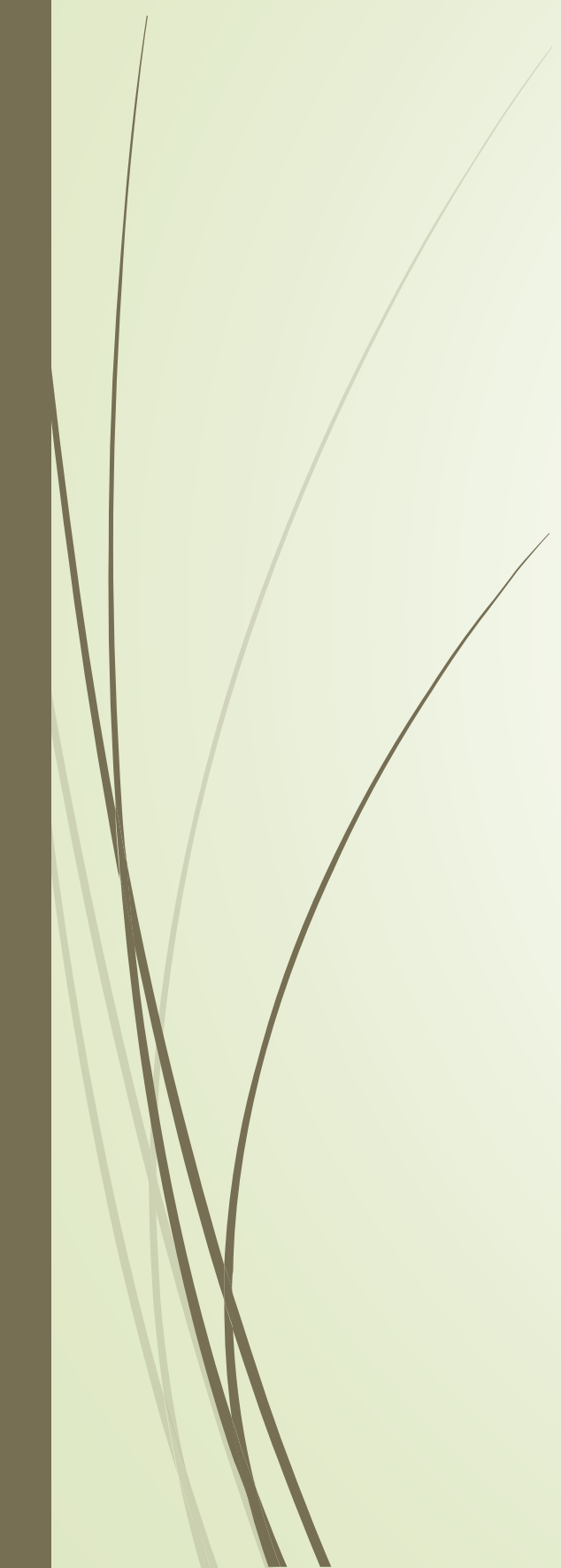

誰かが繋がっているという安心感

繋がりを続ける居場所を作ること

居場所作り（子ども食堂・学習支援・プレイパークなど）



誰も取り残されない社会の実現



ご清聴ありがとうございました。

遊び場づくりはじめての1歩講座

埼玉冒険遊び場づくり連絡協議会

代表 佐藤 美和 氏



遊び場づくり はじめての1歩 講座

埼玉冒険遊び場づくり連絡協議会（さぼれん）
代表（プレイワーカー） 佐藤 美和



【本日の内容】

1. 「プレーパーク」はどんな場所？
2. 「プレーパーク」はどうやったらつくれるの？



佐藤 美和

MIWA SATO

埼玉冒険遊び場づくり連絡協議会 代表
特定非営利活動法人たねの会 代表理事

宮城県仙台市出身。23歳息子・19歳娘の母。中学～高校時代、身内の不登校から「学校外の学びの場・居場所づくりについて考えはじめる。子育て中に「プレーパーク」を知り、公園にダンボールを持ち込んで遊ぶことから活動を開始。2013年「子どもたちがのびのび遊べるまちをつくろう！」をモットーとした「たねの会」を発足。2018年常設のプレーパークを受託。6年間プレイワーカーとして勤務。埼玉県内の遊び場づくり支援も行う。2023年9月さいたま市岩槻区に「フリースクールくるーず」オープン。





1. 「プレーパーク」ってどんな場所？

世界で最初の冒険遊び場「エンドラップ廃材遊び場」

1943年年第2次世界大戦中 コペンハーゲン

○デンマークの造園家ソーレンセン教授

こぎれいな遊び場よりも、ガラクタのころがっている空き地や資材置き場で子どもたちが大喜びで遊んでいる

エンドラップからイギリスへ

1945年（第2次世界大戦後）ロンドン

○イギリスの造園家アレン卿夫人

エンドラップの廃材遊び場に深く感銘を受けその思想を持ち帰り、ロンドンの爆撃跡地に冒険遊び場をつくった。

○1950～70年代を中心に、スウェーデン、スイス、ドイツ、フランス、イタリア、アメリカ、オーストラリアにも。

（現在、ヨーロッパ全体で1,000カ所程度の冒険遊び場）

日本で最初の冒険遊び場 1970年代 世田谷区

○大村虔一・璋子夫妻

1979年 常設の「羽根木プレーパーク」誕生

（日本で初めての有給プレーリーダー 天野秀昭さん）



現在、全国で
500ヶ所以上

埼玉県内には
25ヶ所以上
(常設は2ヶ所)

遊ぶって生きること

遊ぶことは成功や失敗にかかわらず「やりたいことを楽しむ」ことが目的です。人それぞれ「おもしろい」と感じることは違うけれど、自分の「おもしろい」をやってみる、「私の楽しい」「それぞれの楽しい」を大切にしよう。私達は冒険遊び場づくりを通して、そんな関係をまちにつくり、広げていきたいと考えています。

冒険遊び場づくりとは

「もっとのびのびと遊べる場所を」と願った人が、自ら自分たちの地域に手づくりで遊び場をつくっていく活動です。北欧の「廃材遊び場」が起源ですが、日本には週5日以上開催している常設のプレーパークが全国にあります。

たき火、穴掘り、木登り、水遊び、その他、公園では普段禁止されてしまうような遊びも、地域住民や行政の協力で可能な限りできるようにしています。遊び場には、子ども自身がやってみようとする自分の実感で選択できるような環境をつくり、必要に応じて手助けしてくれる大人(プレーリーダーor遊び場スタッフ)がいます。

子育て支援の場として

親にとっても、子どもが思い切り遊べず、常に禁止ばかりしなければいけないのは苦しいこと。子どもの遊びや成長をゆったりと見守りながらおしゃべりしたり、いろいろな人の中で子どもが育っていける場づくりは、子育て支援にもつながっています。

プレーリーダーとは

冒険遊び場づくりにかかわる専門職です。子どもが生き生きと遊べるよう、子どもの目線に立ち、環境づくりや働きかけを行います。子どもたちが安心して遊べるよう配慮し、遊具の点検やケガやトラブルにも対応します。



埼玉県内で冒険遊び場づくりに取り組んでいる団体 (2023年4月現在)

<p>1 社会福祉法人わらしべ会</p> <p>▶熊谷市内 市報にてお知らせ</p> <p>●不定期</p> <p>☎048-588-7970</p>	<p>2 プレーパークはんのう EGAO</p> <p>▶橋場公園(飯能市緑町9)</p> <p>●毎月第3日曜日</p> <p>☎070-1536-5192(岩淵)</p>	<p>3 小鹿野町子どもの遊び場推進会議</p> <p>☆小鹿野町子どもの遊び場プレーパーク</p> <p>▶みどりの村(村の広場)</p> <p>●不定期(原則、月に1回日曜日の10時~14時)</p> <p>☎小鹿野町役場こども課(0494-75-4101)</p> <p>「小鹿野町 プレーパーク」で検索</p>	<p>4 久喜市に冒険遊び場をつくる会</p> <p>☆くさぽー</p> <p>▶久喜市総合運動公園、子供広場、自由広場、グランド脇のはらっぱと林</p> <p>●第4土曜日(8,12月は休み)</p> <p>☎090-8021-5520(荒井)</p> <p>「くさぽー」で検索</p>	<p>5 森と子育てのつどいプロジェクト</p> <p>☆森と子育てのつどい</p> <p>▶北本市「てづくりの森」</p> <p>▶南小通り大村庵横(北本市北本宿158)他</p> <p>●第2日曜日</p> <p>SNS「モリトコ」で検索</p>
<p>6 NPO法人あそび計画</p> <p>☆おちかくプレーパーク</p> <p>▶鶴ヶ島市内公園各所</p> <p>●第3土曜日</p> <p>☎090-5197-0039(木部)</p> <p>活動休止中</p>	<p>7 NPO法人本気であそぶ応援団</p> <p>☆ほんきっこ</p> <p>▶狭山台中央公園(狭山市狭山台3-28)</p> <p>●第2土・日曜日 他(夏休みは連続5日間)</p> <p>☎04-2955-5737(正能)</p> <p>「ほんきっこ」で検索</p>	<p>8 入間遊び場づくり協会</p> <p>☆冒険の森</p> <p>▶青少年活動センター</p> <p>●5月~3月の土曜日</p> <p>☎04-2962-1005</p> <p>(入間市青少年活動センター)</p> <p>http://blog.ap.teacup.com/irumaasobiba/</p>	<p>9 いるまプレーパーク作り隊</p> <p>☆いるまプレーパーク</p> <p>▶青少年活動センター、他</p> <p>●基本第3土曜日、変更有</p> <p>✉irumaplaypark@gmail.com</p>	<p>10 NPO法人 AIKURU</p> <p>☆ねいちゃ〜はびはび</p> <p>▶入間市武道館裏など</p> <p>●毎週水曜日</p> <p>http://aikuru-iruma.com</p> <p>☎04-2966-2848</p>
<p>11 NPO法人ふじみっこ・夢みらい</p> <p>▶富士見市</p> <p>●毎年11月頃</p> <p>☎「富士見市ふじみっこプレーパーク」で検索</p>	<p>12 SHIKISAI パートナース</p> <p>NPO法人志木子育てネットワークひろがる輪</p> <p>☆いろはプレーパーク</p> <p>▶志木市いろは親水公園(志木市中宗岡5-2-57)</p> <p>●偶数月の第1土曜日</p> <p>☎048-456-5070</p> <p>(いろは親水公園パークセンター)</p> <p>「いろはプレーパーク」で検索</p>	<p>13 NPO法人新座子育てネットワーク</p> <p>☆ソトブレ</p> <p>▶新座市児童センター</p> <p>▶福祉の里児童センター</p> <p>▶他市内公園</p> <p>詳しくは上記児童センターHPへ</p>	<p>14 十文字学園女子大学生活環境研究所</p> <p>☆森のプレーパーク</p> <p>▶新座市十文字学園女子大学の敷地内の森</p> <p>「#十文字の森」#森のプレーパーク」で検索</p> <p>「子育て応援 Jumonji チーム」LINE公式アカウントで発信中</p>	<p>15 NPO法人あさかプレーパークの会</p> <p>▶朝霞の森、城山公園</p> <p>▶黒目川、その他市内公園</p> <p>「あさかプレーパークの会」で検索</p>
<p>16 NPO法人わこう子育てネットワーク</p> <p>☆わこうプレーパーク</p> <p>▶市内公園</p> <p>●不定期</p> <p>✉info@wa-kosodate.com</p> <p>「わこう子育てネットワーク」で検索</p>	<p>17 戸田遊び場・遊ぼう会</p> <p>☆道満プレーパーク</p> <p>▶彩湖・道満グリーンパーク</p> <p>☆ちびっこぼうけんひろば</p> <p>▶児童センターこどもの国</p> <p>✉todaasobiba@yahoo.co.jp</p> <p>「戸田遊び場・遊ぼう会」で検索</p>	<p>18 外遊びを考える会「どろんこの王様」</p> <p>☆どろんこの王様</p> <p>▶富士見公園(蕨市錦町2)</p> <p>●第3土曜、第2火曜日ほか</p> <p>✉doronkonousama@gmail.com</p> <p>「どろんこの王様」で検索</p>	<p>19 NPO法人 冒険あそびネットワーク草加</p> <p>☆冒険松原あそび場</p> <p>▶(草加市松江1-1-23)</p> <p>●木~月曜日(週5日)</p> <p>☎048-935-7383</p> <p>各種SNSあり「冒険松原あそび場」で検索</p>	<p>20 NPO法人 越谷にプレーパークをつくる会</p> <p>☆東越谷プレーパーク</p> <p>▶東越谷第7公園(越谷市花田1-4)</p> <p>☆越谷プレーパーク</p> <p>▶越谷総合公園 他</p> <p>「越谷プレーパーク」で検索</p> <p>☎090-7411-4693(淵野)</p>
<p>21 あそびの森</p> <p>☆別所沼プレイパーク</p> <p>▶別所沼公園・芝山エリア</p> <p>●毎週木曜、第2・4土曜日</p> <p>☎050-6871-9625(田中)</p> <p>「あそびの森プレイパーク」で検索</p>	<p>22 大宮プレーパーク・ねっこの会</p> <p>☆大宮第三公園プレーパーク</p> <p>●不定期(HPに開催日掲載)</p> <p>✉oomiyaplaypark@yahoo.co.jp</p> <p>Twitter</p> <p>「ねっこの会」で検索</p> <p>☎050-6867-7668</p>	<p>23 NPO法人たねの会</p> <p>☆冒険はらっぱプレイパーク</p> <p>▶さいたま市子ども家庭総合センター「あいばれっと」屋外</p> <p>●月・火・木・金・日・祝(第2金曜休み)</p> <p>10時~17時(冬季は16時)</p> <p>「冒険はらっぱ」で検索</p>	<p>24 こびと東大宮3丁目</p> <p>☆こびと東大宮3丁目</p> <p>▶東大宮ふれあい広場</p> <p>●毎月第3水曜日(9:30~12:00)</p> <p>✉kobito3chome@gmail.com</p>	<p>25 NPO法人 よしかわ子育てネットワーク</p> <p>☆プレイパーク・おそとで遊び隊</p> <p>▶市内公園</p> <p>●HPに開催日掲載</p> <p>✉yoshikawa.kosodate@gmail.com</p> <p>☎048-983-5267</p> <p>「よしかわ子育てネットワーク」で検索</p>



「冒険遊び場＝プレーパークをつくる」とは？

冒険遊び場は、すべての子どもが自由に遊ぶことを保障する場所であり、子どもは遊ぶことで自ら育つという認識のもと、**子どもと地域と共につくり続けていく**、屋外の遊び場である
(2021年 日本冒険遊び場づくり協会)

地域住民が主体となって運営され、公園では禁止されてしまうような？穴掘りや木登り、水遊び、火をつかった調理なども、地域や行政との協力・連携により、できる限り可能にしている。

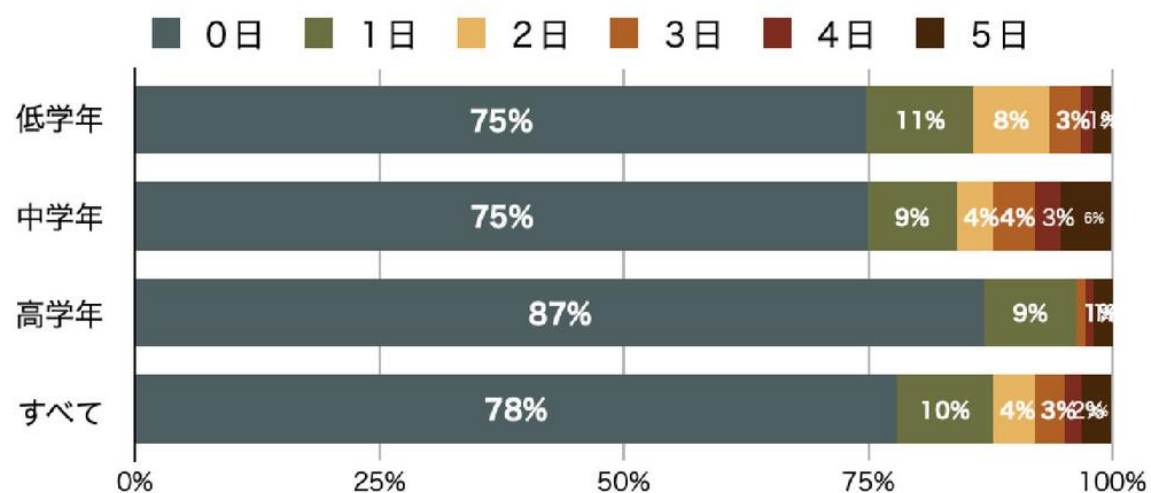
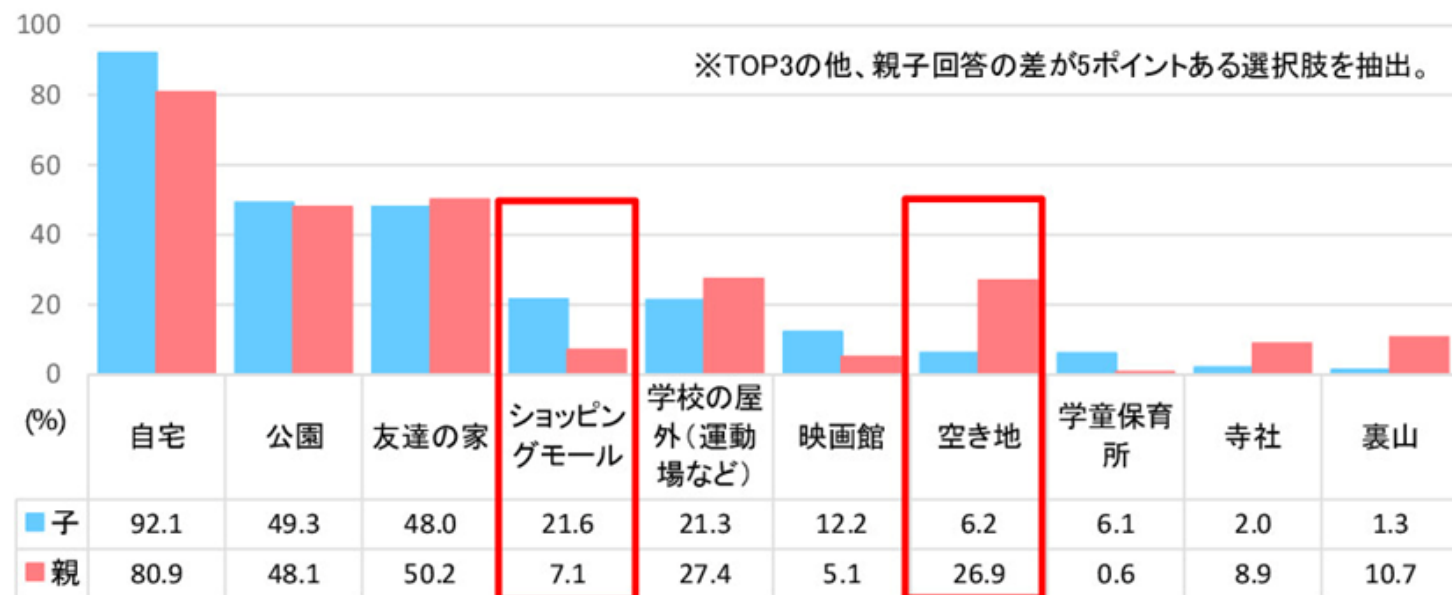


「ほしい」「やりたい」当事者がつくる活動

子どもたちをとりまく「地域」の現状

のびのび遊ぶこと(外遊び)がしづらい環境

- ①三間の不足(時間・空間・仲間)
- ②制限・制約の多い環境(責任追及)
- ③地域のつながりの希薄化(子育ての孤立化)



都市部の平日の子どもの外遊びの日数

外遊び0日 = 都市8割、農村部6割

資料提供: 木下勇氏・寺田光成氏

子どもにとって「遊び」とは

「やってみたい」からはじまるすべてのこと



子どもたちは「遊ぶ」ことで
楽しみながら自分を育てている

自己肯定感

失敗してもいいから試してみることができる環境・安心感があることが大事

大人にできること

禁止事項をなるべくつくらなくて済む環境
子どもたちがのびのび遊べる環境をつくる

- × 大人がやらせたい遊び
- ◎ 子どもが「やりたい」遊び



子どもたちの「発想・探究・発見」
それぞれの「遊び」を大切にできる環境づくり

遊び場づくり 5つのステップ

- ① 仲間を見つける
- ② 場所を決める
- ③ 準備する
- ④ やってみる
- ⑤ 振り返り・次回の相談



①仲間をみつける

1人からでもはじめられる！

- 情報収集（どこかにやりたい人いないかな？協力してくれる人はいないかな？）
- 行ってみる/参加してみる（他のプレーパーク、居場所づくり系の講座など）
- 講演会/学習会/講座 などを開いてみる（市の制度や助成金などを活用して）
- 発信する（SNSや口コミで）
- 小さくやってしまう（遊びの企画やおしゃべり会など）

<こんな話をしてみよう！>

- ご自身のこと/子どものこと/地域のこと
- どんな場をつくりたい？
- なぜつくりたい？
- どんなことができるようにしたい？
- どんなことならできそう？どのくらいならできそう？



*団体にするかどうか / する場合はどんな団体にするか

②場所を決める

どんなところでやりたい？
どんな人にきてほしい？

- 自宅からの距離（通いやすさ・荷物の運びやすさ・生活圏がよいか外がよいか）
- 一緒にやる人、遊びに来てもらいたい人はどこにいる？
- 【どんな場所がある？その場所を使うには？】
- 公園（公園管理をしているのはだれ？ 使う時の決まりは？ 許可申請は必要？）
- 緑地（緑地を管理しているのはだれ？ 使う時の決まりは？ 許可申請は必要？）
- 公共施設内の敷地 児童センター/自治会館 / ○○跡地/ ○○予定地 など
（施設の人に相談 / 担当課に相談）
- 私有地 空き地/畑/未使用の土地/神社など
（知り合いにあたる / 持ち主に相談 / 担当課に相談 など）
- 自宅内・自宅前 庭/駐車場/未使用の土地 など（家族やご近所に相談）
- 道路 「みちあそび」（道路の管理者に相談 / 警察の所轄に届け出）
- 室内（館内） 公民館 / 自治会館 他
- 企業内
- 「こども応援ネットワーク埼玉」に相談

③準備する

準備＝仲間づくりのチャンス

<お知らせ>

- ・ 口コミ
- ・ チラシをつくって配る（掲示する）
- ・ SNSで発信する

<環境づくり（用意するもの）>

- ・ 何が必要？（素材・道具）
持ち寄れるもの / 借りれるもの / 買うもの

<資金>

- ・ 買う物 / かかるお金
- ・ お金の集め方
（出し合う、カンパ・寄附を集める、会費を募る、助成金を申請する等）

<スタッフ>

- ・ 本を読んで勉強
- ・ 他のプレーパークにしてみる（話しを聞く）
- ・ 講座に参加する
- ・ 講座を開く



④ やってみる

「楽しかった！」が継続のコツ

まずは短い時間、少ない人数からでも。
プレーリーダー（プレイワーカー）とともにつくる選択もある。

* 来ている人をお客さんにしない工夫。
手伝ってもらおう。一緒に考えてもらおう。

* けががあった時の対応、連絡の方法、病院の場所
などは確認しておこう！



⑤振り返り・次回の相談

次につなげよう

【振り返り】

- ・ やって見てどうだったか（感想・出来事の共有）
課題やアイデアがあれば次に生かす

お互いの思い・想いを知り合う時間

無理をせず、分担できるところを見つけましょう



支援団体・支援情報をつかもう

〈こども応援ネットワーク埼玉〉(埼玉県少子政策課内)

埼玉県内に居場所をつくるための支援(こども食堂や無料塾、プレイパークなど)

- ・ 情報発信・情報提供
- ・ 居場所づくりアドバイザー制度

〈助成金〉

- ・ 子ども食堂応援基金 / 浦和競馬こども基金 / ひまわり基金 / ふれあいの詩基金
- ・ 民間の助成金情報
「埼玉県 NPOコバトンビン」 (検索)
- ・ 各自治体の助成金・施策

〈埼玉冒険遊び場づくり連絡協議会〉

居場所づくりアドバイザーの派遣・立ち上げ支援・
情報提供・活動者同士の交流・「あそむーぶ」の貸し出し



最後に ☆大人こそ遊ぼう☆

◎「プレーパーク」はカタチじゃない！

ひとりひとりの「やってみたい」をやってみることができる場をみんなであつくる活動（子どもも大人も！）

みんなのやってみたい気持ちを大事に、楽しみながらつくっていきましょう♪

「遊び」を通して、豊かなつながりが生まれる場所に。
誰もが安心して暮らせる街に。

埼玉県からののお知らせ

埼玉県福祉部少子政策課

牧野 圭那 主事



SDGs 未来都市



埼玉県



子供の居場所について

埼玉県 福祉部 少子政策課



1 埼玉県取り組み

子供の居場所とは

家でも学校でもない 安心して過ごせる第3の居場所

子ども食堂

ご飯を食べるだけではない 地域のボランティアが子供たちに
“地域と繋がり、信頼できる
人と出会える場”



無料学習塾

無料で勉強を教える
“現代の寺子屋”



プレーパーク

子供たちが自ら考え、
自由に遊ぶ“冒険遊び場”

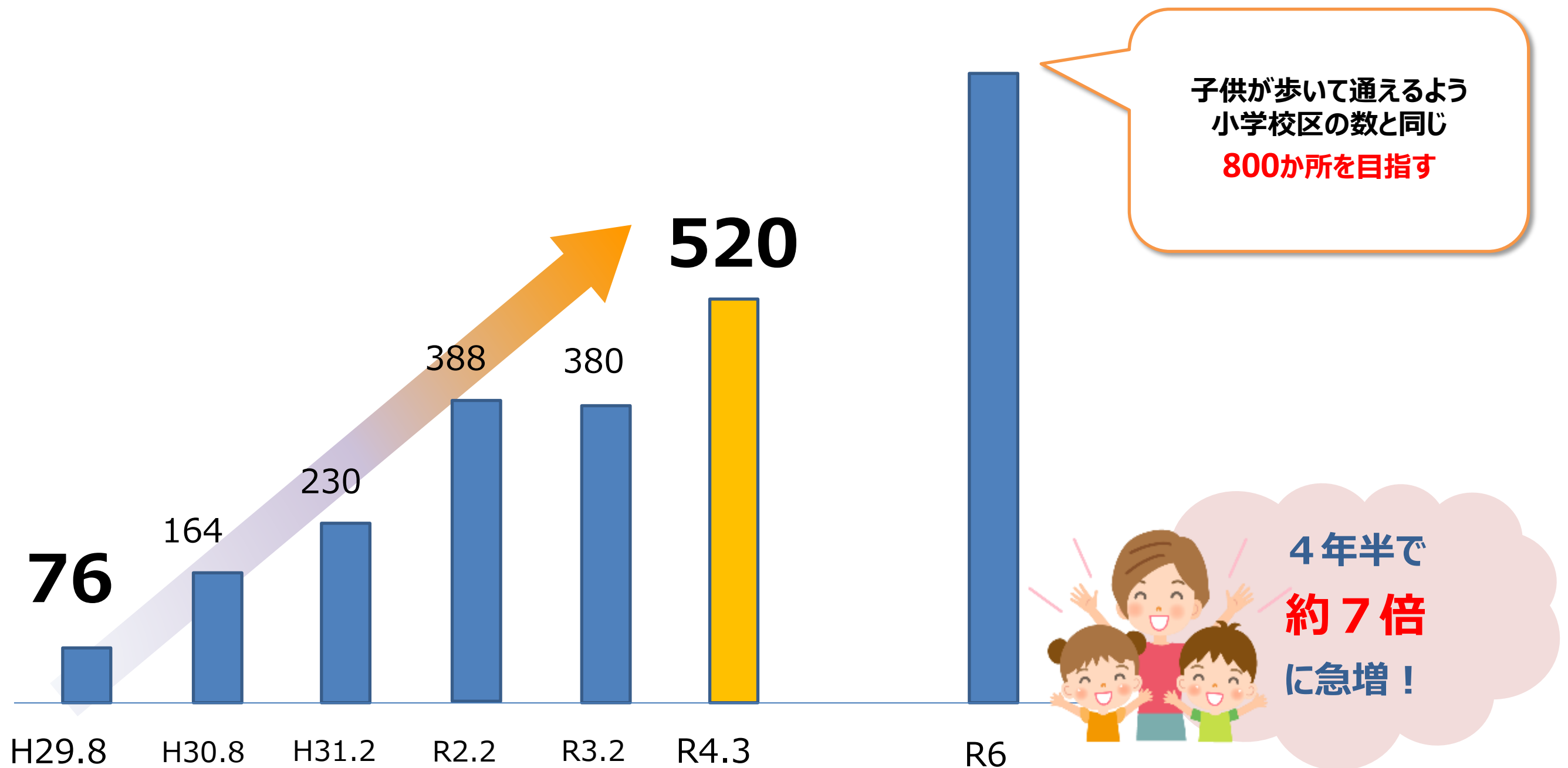


子供たちのセーフティネットの機能だけでなく、
生きる力を得られ、信頼できる大人に出会える場

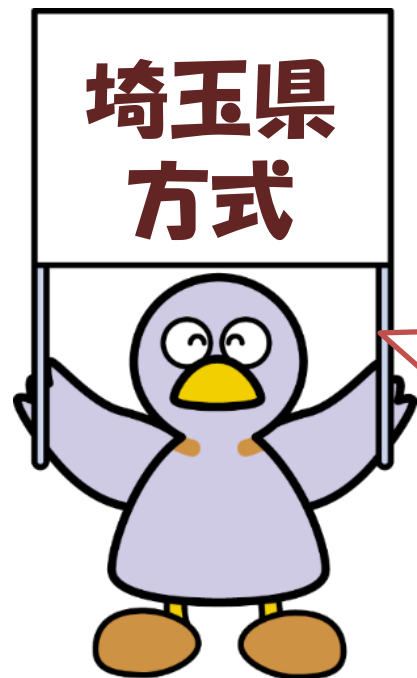
👉 民間団体の創意工夫によって、様々な居場所が展開されている

子供の居場所数

【埼玉県の子供の居場所の推移】



「埼玉県方式」による子供の居場所づくりの推進



埼玉県のマスコット「コバトン」

- ・主役は「民」。民のパッション、エネルギーを最大限引き出す！
- ・県は信用力を生かし、とことんサポート！

「埼玉県方式」の3つの柱

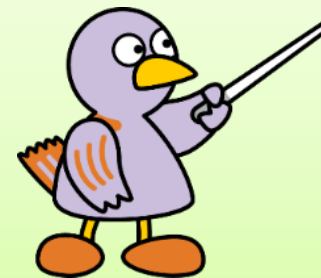
こども応援ネットワーク埼玉

民主導の取組
を支える
プラットフォーム



こどもの居場所づくりアドバイザー

多彩な人材が
ノウハウを伝授



こども食堂・未来応援基金の設置

民の寄附による
持続可能な財源

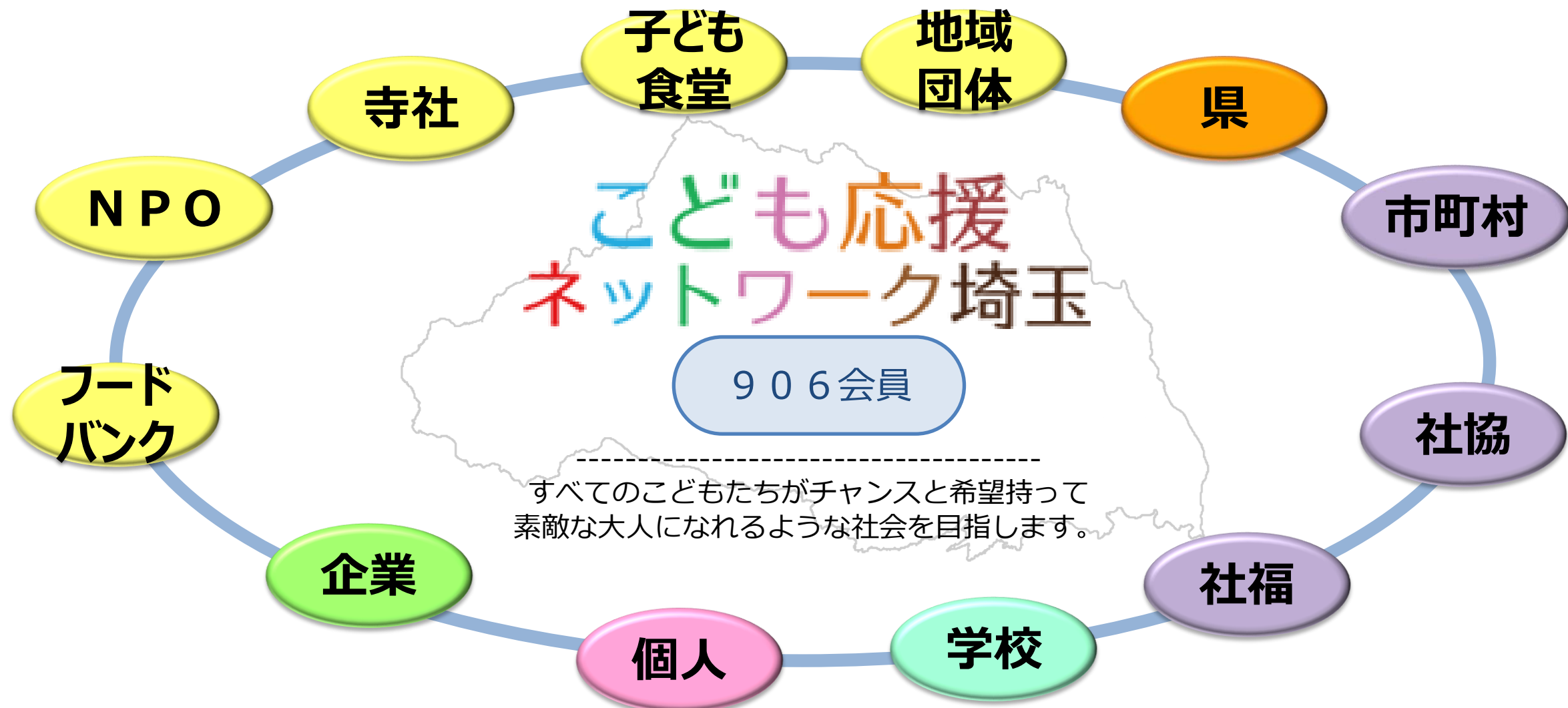


「埼玉県方式」による子供の居場所拡大①

1. こども応援ネットワーク埼玉（H30.12設立）

- ・民間主導の取組を支えるプラットフォームとして設立
- ・ポータルサイトを運営しさまざまな情報を発信
- ・県は居場所団体と支援企業や個人とのマッチングを行う
- ・SNSなどでの広報により機運醸成を図る

ポータルサイトはこちら



「埼玉県方式」による子供の居場所拡大①

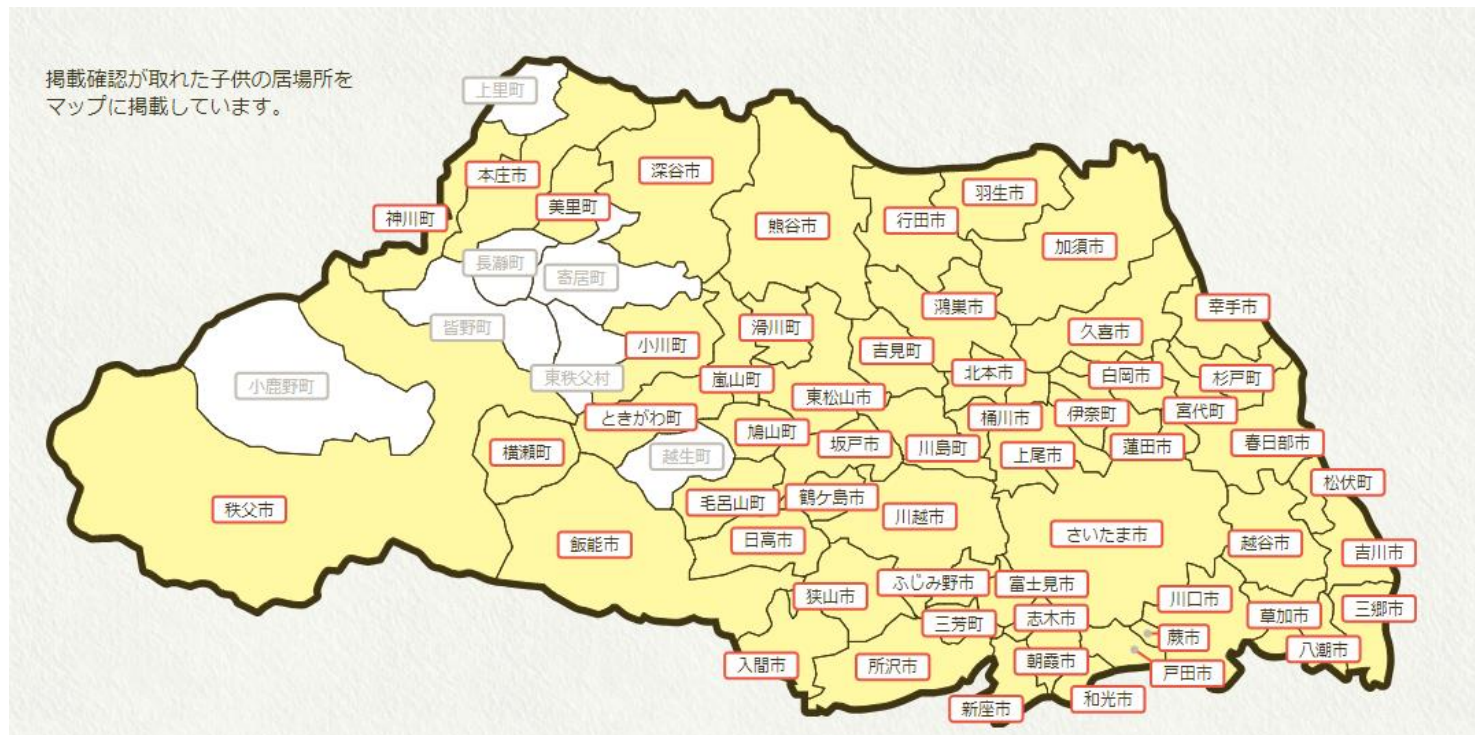
▽ 資料&動画

居場所づくりに役立つ資料や動画を掲載！



▽ マップ

子供の居場所の情報を掲載し、活動をPR！



「埼玉県方式」による子供の居場所拡大①

▽ 掲示板

子供の居場所づくりのための場所や物などの支援を求めることができます！



〈マッチング事例（掲示板以外も含む）〉

- お米や野菜を寄付したい（個人）
- 品質に問題はないが廃棄となってしまう食品等の寄付をしたい（企業）
- フードドライブ品、災害備蓄品を寄付したい（企業）
- 活動場所として場所を使ってもらいたい（企業）

「埼玉県方式」による子供の居場所拡大①

▽ 情報発信

SNSを通じて、セミナーや相談会、助成金の情報などを発信！

【Facebook】



【LINE】



「埼玉県方式」による子供の居場所拡大②

2. こどもの居場所づくりアドバイザーの派遣

多彩なアドバイザーをラインナップし、居場所立上げや運営のノウハウを提供

- ・子ども食堂などの居場所づくり実践者
- ・弁護士や税理士、食品衛生、広報、ITなど各分野の専門家



埼玉県子ども食堂ネットワーク
東海林 尚文 氏 (子ども食堂)



NPO法人 食生態学実践フォーラム
針谷 順子 氏 (食育)



税理士
岡田 和巳 氏 (会計相談)

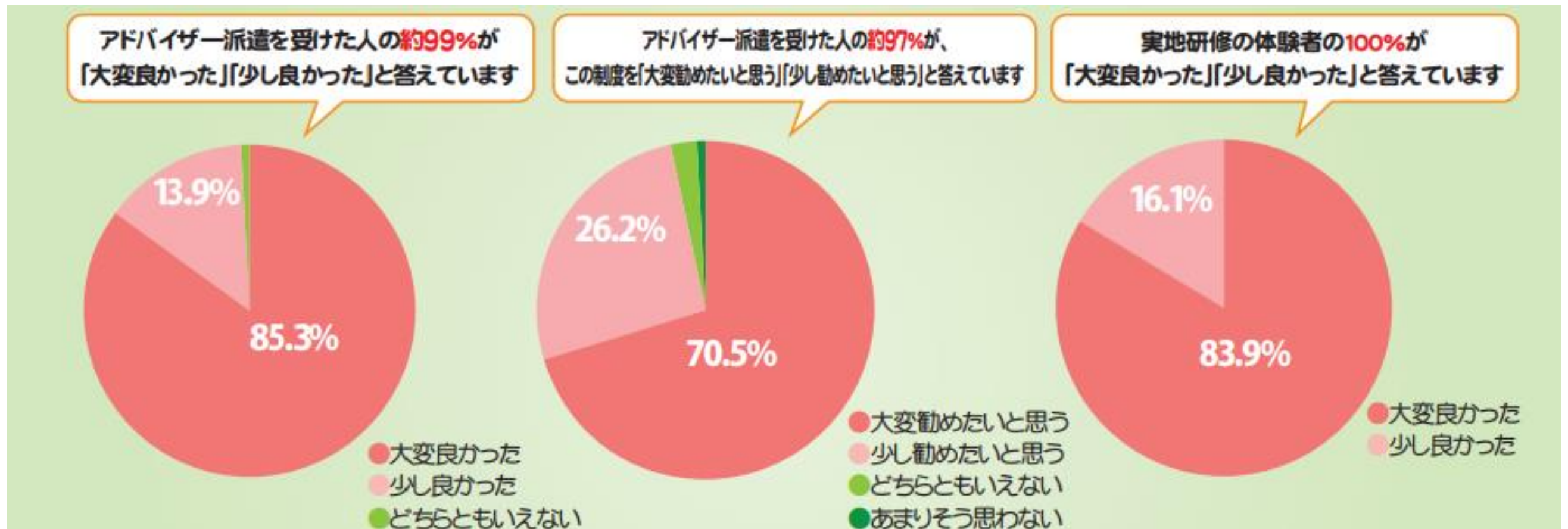


アクシユア株式会社
田中 理恵 氏 (広報・IT)

派遣回数179回
立上げ件数34か所
(R4年度実績)

「埼玉県方式」による子供の居場所拡大②

アドバイザー派遣利用者の声

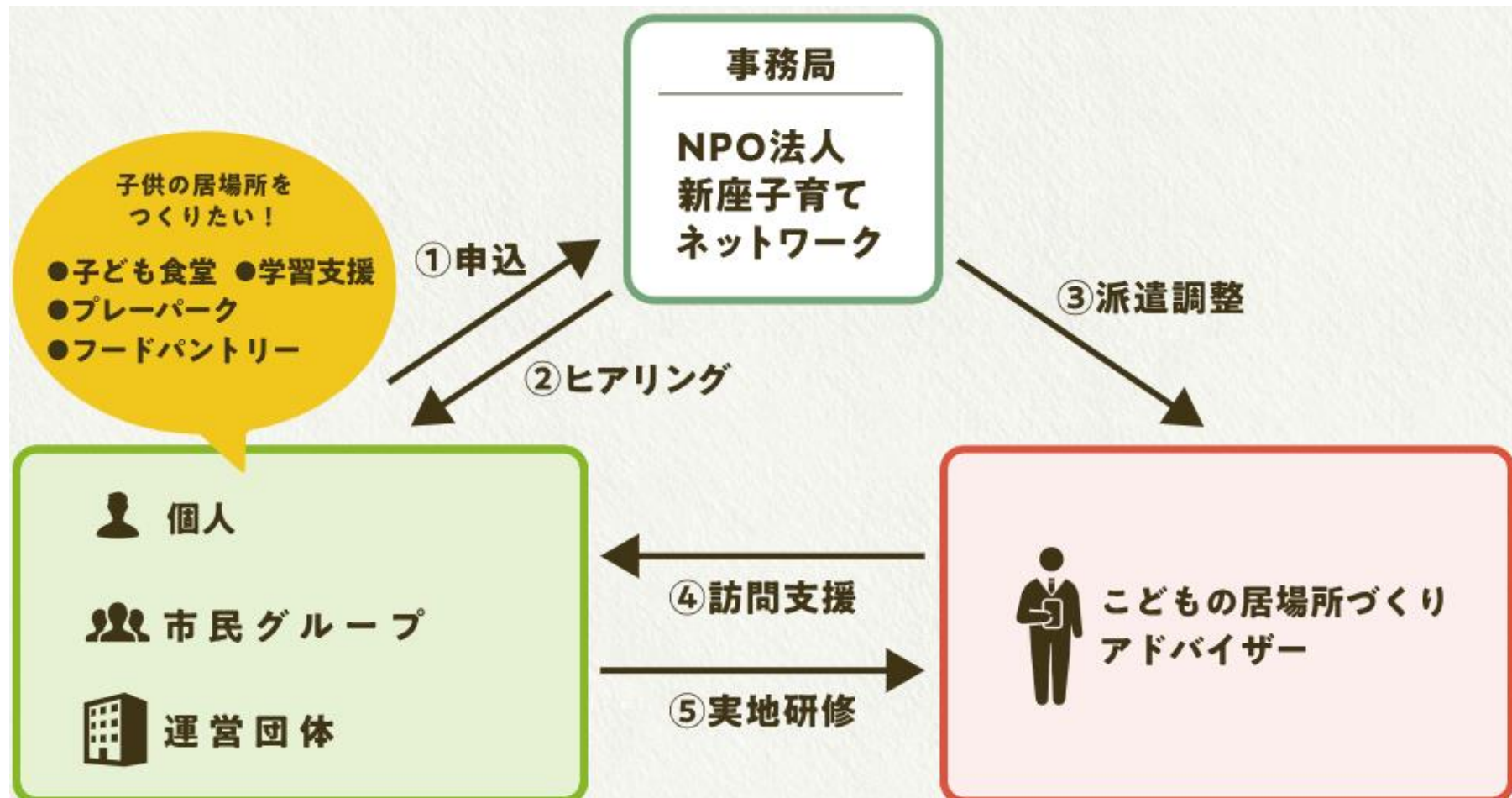


<感想の一部>

- 実際に運営されている方からアドバイスや助言、実地を見せていただけたというのは、大変ありがたい。
- これでいいのか？と小さなことでも悩んでしまう立ち上げ期に、背中を押してもらえた。
- とても丁寧で寄り添ったアドバイスをいただいた。
- アドバイザーのお話を聞いて不安がなくなりやる気が出ました。
- とても明るく熱心にアドバイスいただき、ありがたいです。準備に向けて意欲が湧きます。

「埼玉県方式」による子供の居場所拡大②

アドバイザー派遣利用方法



＼詳細はこちら／



★お問合せ・お申込み・ご相談などは埼玉県子供の居場所づくり推進事業事務局へ
事務局:NPO 法人新座子育てネットワーク
E-mail:saiibasho@ccn.niiza-ksdt.com
TEL:070-1455-0017 FAX:048-482-5731

「埼玉県方式」による子供の居場所拡大③

3. こども食堂・未来応援基金の設置 (R1.5~)

- ・埼玉県社会福祉協議会に、個人や企業からの寄附による**持続可能な財源**を確保
- ・寄附受入額は**8,093万円** (R4年度末現在)
- ・継続的な寄附につながる取組も拡大中



売上の一部を自動的に寄附



遺贈 + 手数料の一部を寄附



私募債発行手数料の一部を寄附

「埼玉県方式」による子供の居場所拡大③

基金の利用について ※今年度の募集は終了しました

【助成概要】

埼玉県内のすべての子どもを対象に、「貧困の連鎖」を解消する「こども応援ネットワーク埼玉」の趣旨に賛同する活動として、子どもが一人でも安心して行ける「子どもの居場所」を、新たに立ち上げて事業を行う団体に対し、**最大10万円**を助成する

【対象団体（抜粋）】

- ① 助成年度の4月1日以降に立ち上がった新設団体であること
または 助成年度の4月1日以降に新たな拠点を設けて事業を行う団体であること
- ② 特定の政治的または宗教的活動を行う団体でないこと
- ③ 団体が反社会的勢力ではないこと など

【対象経費】

事業実施のため、直接的に必要な次の経費

- 消耗品費 ○資機材購入費 ○会場費 ○食料費 ○通信運搬費 ○印刷製本費 ○物品借上費 ○講師等謝金 ○旅費交通費 など
なお、以下の経費は対象
○団体の経常的な経費 ○団体のメンバーなどへの賃金や報酬とみなされるもの ○団体内の親睦を目的とした研修やイベント など

【申込期間】

例年、4回（4、7、9、11月）あります。

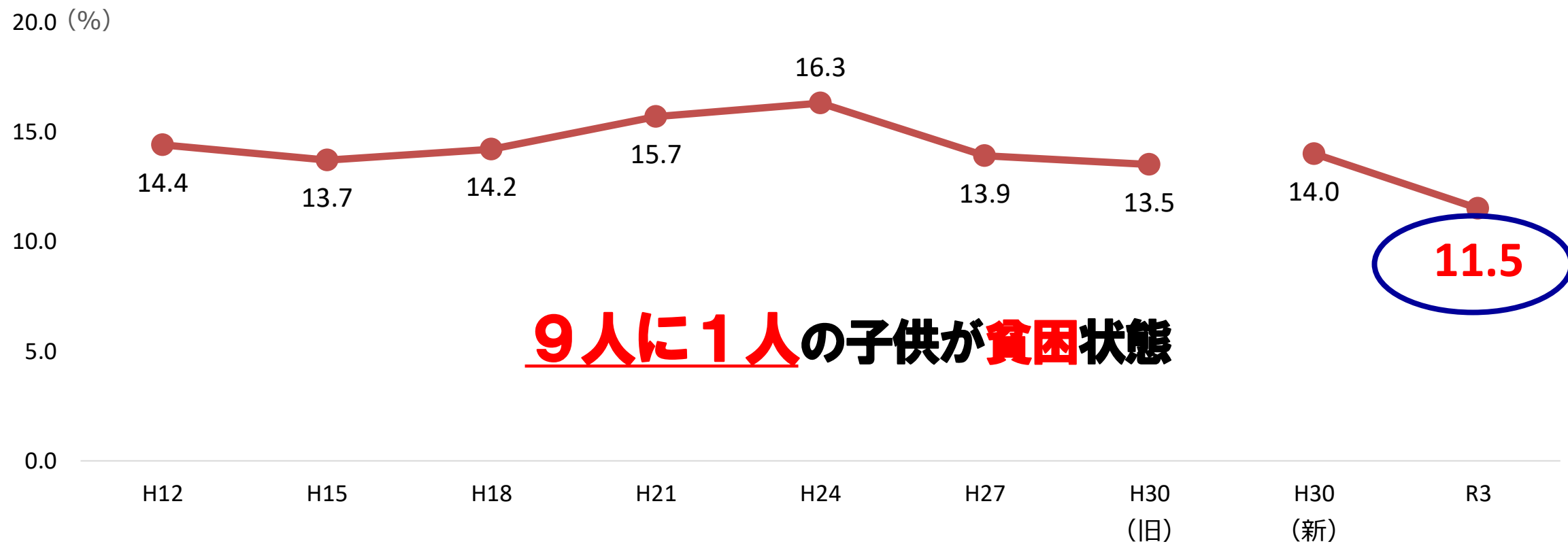
詳細は「埼玉県社会福祉協議会のHP」をご覧ください



2 子供の貧困について

子供の貧困について

子供の貧困率（相対的貧困）



9人に1人の子供が貧困状態

厚生労働省「国民生活基礎調査」

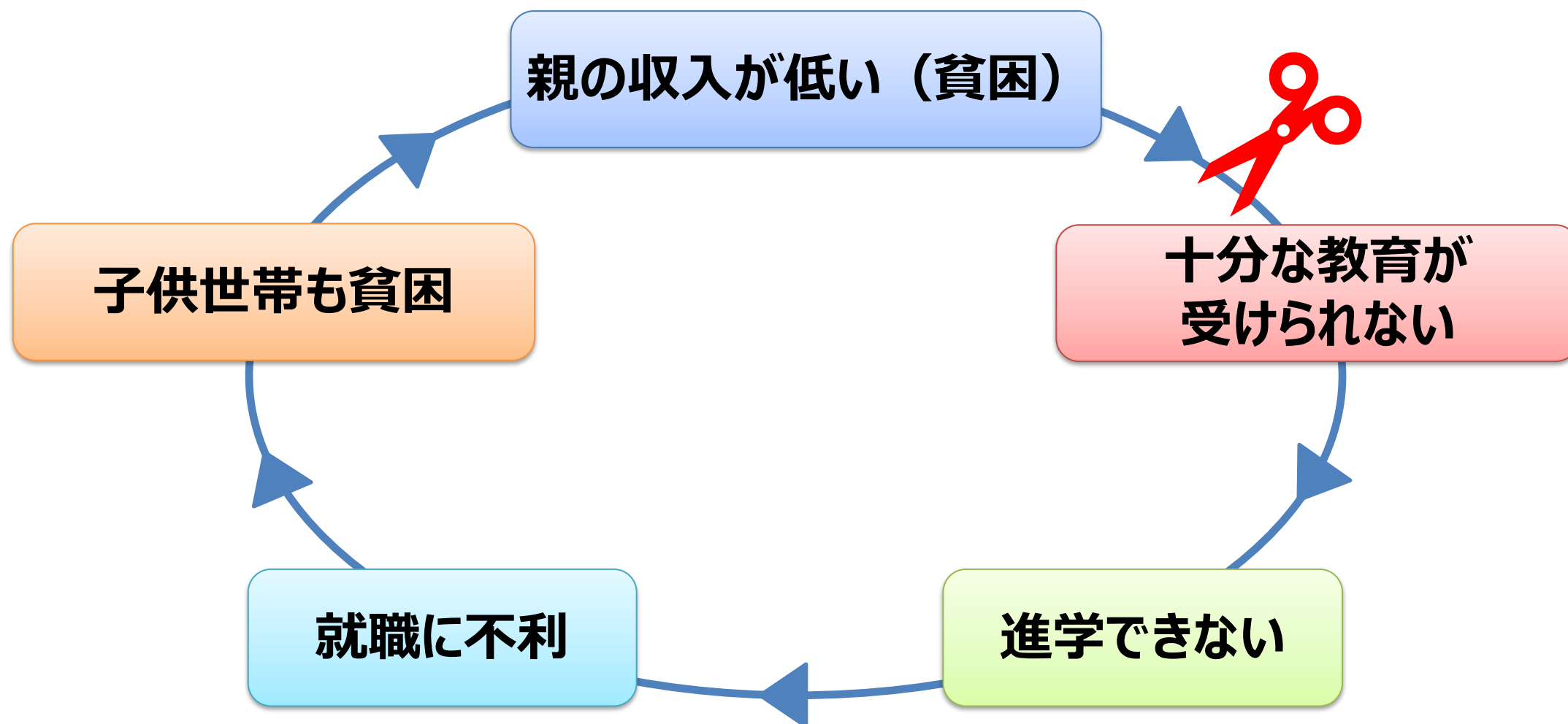
相対的貧困とは

「当たり前」の生活が営めない状態

- 例) ・3食きちんと食べられない ・修学旅行に行けない ・塾に行きたくてもいけない
- ・部活動の道具やユニフォームが買えない ・家が狭い、うるさい、机もない

貧困の連鎖とは

貧困を放置すると親から子へ連鎖する



**貧困の連鎖を断ち切り
同じスタートラインに立てるよう環境整備が必要**

目指すべき姿は

全ての子どもが、生まれ育った環境に左右されず
同じスタートラインに立てる社会

そのためには、困難な状況に置かれた子どもたちが、**自己肯定感**や
生きる力を育むことができる場所や機会が必要



ご清聴ありがとうございました。



SDGs 未来都市



埼玉県



こども応援ネットワーク埼玉

アンケートにご協力をお願いします

ワイワイ楽しく！子ども食堂&プレーパーク
アンケートフォームはこちら↓

<https://forms.gle/8vdYZFaFoUNtPTUSA>



アンケートフォームは、zoomの招待メールにもURLを載せています。
URLをクリックしていただき、ぜひご回答をお願いいたします。

本日はご参加いただき、ありがとうございました。